

令和6年度当初予算案 輝く堺を創る予算



市では、これまで徹底した事業見直しを進め、新型コロナや物価高騰対策等に注力し、デジタル化・DXや女性活躍の推進、区役所の機能強化等の行政改革、子育て支援の充実や健康寿命の延伸など喫緊の課題にも着実に取り組み、持続可能な都市経営に向けて土台を築いてきました。令和6年度も堺が持つ可能性を最大限に発揮し、「輝く堺」であるように未来を見据えて積極的に挑戦します。

※グラフの数値は四捨五入のため、合計が合わないことがあります

問 財政課 (☎228-7471 FAX228-7856)



その他の
施策は
こちら→

全体規模

一般会計
4675億円

前年度比+347億円(+8.0%)
福祉や教育など基本的な事業
を行うための会計

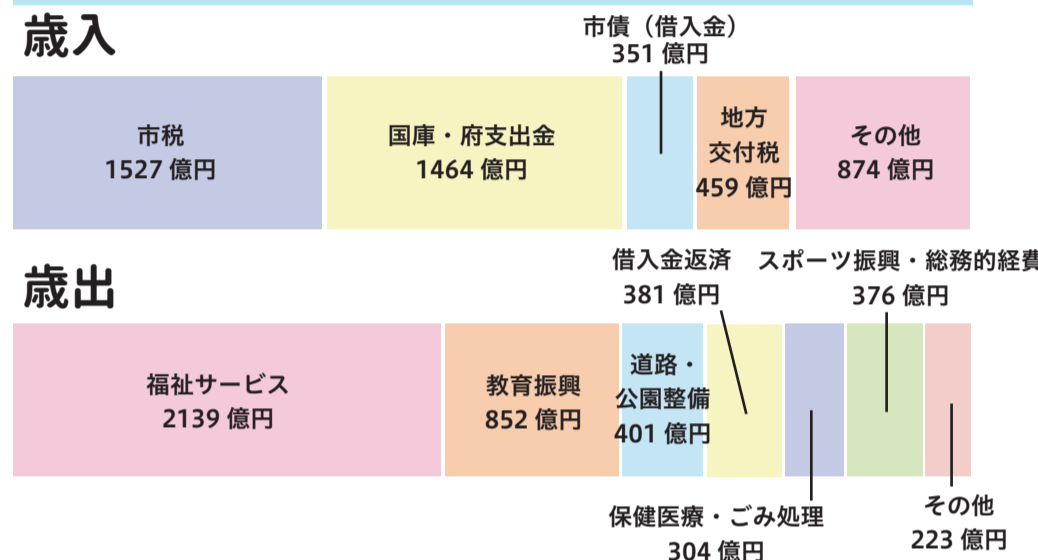
特別会計
2610億円

前年度比+52億円(+2.0%)
国民健康保険や介護保険など
特定の事業の会計

企業会計
881億円

前年度比▲33億円(▲3.6%)
料金収入などで運営している
水道・下水道事業の会計

一般会計予算案の内訳



安心できる堺の確保

産後ケアの拡充

- ・出産後に助産師などが心身のケアを行う「産後ケア事業」について利用者負担額を軽減
- ・生後1歳未満の乳児とその母親を対象とした訪問型産後ケアを導入



安全・安心な保育体制の強化

- 安全対策や配慮を要する子どもへの対応などを行う職員の雇用に要する費用を補助
- 保育の利便性・満足度や質の更なる向上を図るため組織を再編

ヤングケアラー世帯への訪問支援

育児や家事などの援助を行う支援員を派遣

大学生などを対象とした給付型奨学金の創設

- ・大学生などを対象に年額12万円を給付する奨学金を創設
- ・高校生などは対象を全学年に拡大し、給付額を年額6万円に増額

子どもの総合的な学力向上の推進

子どもそれぞれの学力の伸びを測る調査結果などを活用し、効果的に学習を支援



不登校の子どもの学びとつながりの支援

生活困窮世帯の長期間中学校を欠席している子どもを対象に家庭教師を派遣

子どもの貧困対策などの更なる強化のため「子どもの未来応援室」を新設

学校体育館の空調整備

市立小・中学校、高校、特別支援学校の体育館の空調整備に向けた設計を実施

学校給食の食材費高騰支援

市立小・中学校、特別支援学校において、令和6年4月から1年間、食材費の高騰分を市が負担



高齢者のあんしんサポートの推進

家族などにつながる緊急連絡用ステッカーや協力者に検索を依頼できるアプリの提供により認知症高齢者など行方不明者の発見を支援

地域活動支援センターの再編・強化

連携推進員の配置や開所時間の拡大により、障害のある方に対する地域生活支援を充実・強化

津波避難ビルへの地震時自動解錠キーボックスの設置

対象となる小・中学校などの門や入口に地震の揺れを感知して自動的に解錠するキーボックスを新たに設置

自治会設置防犯灯のLED化の促進

LED化に要する費用の補助により、自治会の負担を軽減し、環境負荷も低減



がん検診の無償化

各種がん検診、胃がんリスク検査及び前立腺がん検査の自己負担金の無償化を継続



動物指導センターの施設更新

動物愛護を推進する拠点として再整備するため、動物指導センターの建替えに向けた設計を実施



百舌鳥古墳群における「保全」と「活用」の推進

- ・世界の墳墓をテーマにした古墳サミットを開催し「百舌鳥・古市古墳群」の価値や魅力を発信
- ・世界遺産登録5周年を迎え、関係自治体と連携した記念イベントや堺市博物館での企画展を開催
- ・古墳の濠の水環境を改善する取組を実施



新金岡地区活性化の推進

新金岡地区の持つポテンシャルを最大限に活かした地区活性化に向け、土地活用の方向性や整備手法を検討

SMIプロジェクトの推進



堺都心部の活性化や東西交通問題の改善などをめざして取組を実施

- ・SMI(※1)都心ラインの乗降場所となるART(※2)ステーションを暫定的に整備し、自動運転車両による実証実験を実施
 - ・SMI美原ラインにおいて本格運行を見据えた実証実験を実施
- (※1) SMI:堺・モビリティ・イノベーション
(※2) ART:次世代都市交通

堺の未来への挑戦

中小企業の生産性向上・賃上げに向けた取組への支援

- ・DX推進のための人材育成やデジタルツール導入の費用を補助
- ・一定以上の賃上げを行う中小企業が運転資金などに必要な融資を受ける際の保証料を全額助成

スタートアップ向けオフィス整備の促進(中百舌鳥エリア)

オフィスのリノベーション費用への補助及び新たにオフィスを開設する起業家への賃料補助を拡充

女性就職支援及び非正規雇用者の転職支援

平日夜間などでも利用可能な相談や短時間勤務など希望に応じた求人紹介などを実施



「堺エネルギー地産地消プロジェクト」の推進

- 脱炭素先行地域として、建物の省エネ・創エネに加え、再エネ由来の電力供給を組み合わせる取組を実施
- ・都心エリアにおいて公共施設(市役所本庁舎など)の脱炭素化
- ・泉北ニュータウンエリアにおいて「ゼロエネルギータウン」を創出

2025年大阪・関西万博の開催に向けた取組

- ・大阪・関西万博の開催効果を最大化するため、万博の機運醸成と堺の魅力発信を強化
- ・国内外からの誘客促進に向け、インバウンドを含む団体ツアーの費用補助や市役所21階展望ロビーのリニューアル、鉄道事業者などと連携した観光キャンペーンなどを実施
- ・子どもたちの国際感覚の醸成、未来に向けた行動につながる取組などを実施



(仮称)大和川サイクルラインなどの整備・利用促進



- ・サイクルラインや接続する路線において安全で快適に自転車が通行できる環境などを整備
- ・完成披露イベントの実施や情報発信により利用を促進

財政収支見通し

前回と比べて人件費や社会保障関係費の増加等により収支が悪化し、市税や地方交付税等の歳入の増加によって後年度にかけて改善傾向であるものの、基金残高は大幅に減少する見込みです。今後も不断の見直しを行い、財政構造の改善に向けて取り組み、持続可能な財政運営を確保できるように努めます。

